

北陸圏広域地方計画に関する
プロジェクト検討参考資料
(プロジェクト骨子)

本資料は、広域地方計画に位置づけるプロジェクトに関する北陸圏広域地方計画協議会構成機関による平成21年3月末時点での検討の概要を骨子として整理したものであり、今後これを基礎として、更なる検討を加え、プロジェクトに関する記述内容を中間整理に加えていくものである。

目 次

【北陸圏広域連携プロジェクト】

1. 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト… 1
2. 立山・黒部や白山など山岳地域の自然環境保全プロジェクト …… 3
3. 次世代に継承する日本海沿岸地域の環境保全プロジェクト …… 4
4. 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト …… 6
5. いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト …… 8
6. 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト …… 11
7. 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト …… 13
8. 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト …… 14
9. 東アジアに展開する日本海中枢拠点形成プロジェクト …… 16

【北陸圏・中部圏連携プロジェクト】

1. まるっと北陸・中部観光魅力増進プロジェクト …… 19
2. 広域物流ネットワーク（日本海～太平洋）構築プロジェクト …… 20
3. 環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクト …… 21
4. 広域防災・災害応援ネットワークプロジェクト …… 22

【北陸圏広域連携プロジェクト】

1. 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト

目的・コンセプト

北陸圏が抱える厳しい自然条件や地球温暖化による気温・海水面の上昇や異常気象の増加など自然災害要因に対する防災力を強化するため、雪害、風水害、地震等の**防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり**を進めるとともに、これまでに培った防災経験や知恵、**地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化**に取り組む。さらに、太平洋側で危惧される東海、東南海、南海地震など大規模災害時のバックアップ機能を担う**広域的な防災支援体制の構築**を推進する。

具体的取組内容

(1) 防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

(冬季の降積雪や風浪などへの対策強化)

- 降積雪や風浪などがもたらす暮らしや産業活動のハンディを克服するため、道路交通、港湾・空港の防除雪対策や大雪時の避難体制の構築、港湾の風浪、高波等対策や海岸の高潮、侵食等対策の充実
- 交通ネットワークの信頼性を高めるため、大雪時にも優先的に交通機能の確保を目指す「雪みちネットワーク」の設定、大雪時における関係機関による情報連絡本部の設置、降雪や風浪などの気象情報、交通情報、路面状況のリアルタイム映像などの構築
- 日本海での低気圧発生により、固有の海底地形・水深の影響で富山湾沿岸に被害をもたらす「寄り回り波」発生時の早期避難を実現するため、発生予測情報の把握、沿岸地域への発生情報の迅速な伝達を目的とした予測や水防警報など情報伝達の推進

(水害・土砂災害・流木被害などへの対策強化)

- 3,000m級の山岳地域から流れ下る日本有数の急流河川などに起因する水害の被害軽減のため、黒部川や常願寺川、神通川、庄川、小矢部川、手取川、梯川、九頭竜川などの水害対策、さらには金沢市や小松市、加賀市、九頭竜川流域などの雨水排水対策の充実
- 山岳地域の急峻な地形や脆弱な地質に起因する土砂災害の被害軽減のため、黒部川や常願寺川、神通川、手取川、九頭竜川などの砂防対策の充実
- 台風や梅雨前線豪雨など大きな出水や土砂崩れにより山林や河川敷から流出する流木・倒木によって海岸保全施設や海域の漁業施設への被害を流域一体で軽減していくため、富山県流木対策連絡会議など組織横断的な取組による神通川などの流木対策の推進
- 近年見舞われた集中豪雨など、地球温暖化の影響が危惧される異常気象の発生による被害を軽減するため、洪水予報指定河川の拡充、流域での貯留浸透対策およびため池に関する防災情報の的確な伝達・共有化や地球温暖化も視野に入れたハザードマップ

等の作成・情報共有対策の充実

(日本海沿岸域を震源とする地震対策の強化)

- 能登半島地震など海域を震源とする地震発生による被害を軽減するため、日本海沿岸の海底活断層調査の実施とその結果に基づく被害予測の研究や防災体制の重点化、住宅や学校などの耐震化、河川堤防や港湾施設の耐震対策の強化

(2) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

- 地域住民の災害対応の経験・知恵を効果的に継承するため、雪害や近年の集中豪雨災害、能登半島地震などの被災経験、地域に身近な防災・減災の知恵の蓄積と共有化、継承の仕組みづくり
- 災害時要援護者の避難支援など地域の自主防災体制を強化するため、自主防災組織の設置の促進や活動の充実、福井市の災害時要援護者避難支援制度やかなざわ災害時等協力事業所登録制度など先進的な事例の普及啓発
- 人口減少、高齢化の進む半島地域や中山間地域の地域防災体制を広域的に支援する体制を構築するため、能登半島地震を契機として先導的に取り組まれている災害ボランティアの受入体制づくりなどの普及啓発

(3) 太平洋側の復旧復興に貢献する広域的な防災体制の構築

- 北陸3県から隣接する太平洋側への迅速な復旧復興支援を確実なものとするため、災害対策用資機材情報の共有化やTEC-FORCE、災害ボランティアやコーディネーターの養成など、広域的な防災協定の実行力の点検と強化
- 発災時における人員や物資の緊急輸送の確保に向け、リダンダンシー機能を発揮する陸海空一体の交通ネットワークを構築するため、高規格幹線道路網の信頼性向上や港湾・空港の防災拠点機能の強化

2. 立山・黒部や白山など山岳地域の自然環境保全プロジェクト

目的・コンセプト

北陸圏のシンボルである立山・黒部や白山などの豊かな自然環境や豊富な水を育む水源かん養機能を保全していくため、**山岳地域の自然環境の保全**、流域圏全体の連携による**水系一貫の水循環系の構築**、それら**自然環境保全に関する意識啓発**を推進する。

具体的取組内容

(山岳地域の自然環境の保全)

- 立山・黒部や白山などの豊かな自然環境の保全のため、白山国立公園における参加型管理運営体制の検討など、広域的な行政、民間が協力した組織による、景観保全やライチョウ等の希少種保護など生態系保全のための実態把握、利用者への環境教育の推進
- 立山・黒部や白山など高山帯の植生、生態系への影響が懸念される地球温暖化がもたらす影響のモニタリング調査の実施
- 3,000m級の山岳地域の自然環境保全対策として、立山・黒部や白山などの崩落箇所における緑化対策などの推進

(水系一貫の水循環系の構築)

- 立山・黒部や白山などの山岳に端を発し日本海に注ぐ常願寺川、庄川、九頭竜川、北川などの急流河川における一体的、総合的な治水対策等の充実
- 九頭竜川や北川流域の健全な水循環系の構築に向けて、環境、農林水産業、防災など多分野が連携した官民一体の連携組織による自然再生計画などの推進
- 世界に誇る砂防技術と自然との共生技術の蓄積・活用による体験交流など立山の砂防フィールドミュージアムを核とした次世代への技術継承と自然との共生意識の啓発

(自然環境保全に関する意識啓発)

- 子供たちが自然を体験・学習し、自然保護の大切さを学ぶことのできるプログラムの構築など官民一体での自然保護の行動を促すプロジェクトの推進
- 山岳の自然、独特の景観などを有する立山・黒部や白山を核として、隣接する岐阜県や長野県とも連携したエコツーリズムの導入、環境教育の推進

3. 次世代に継承する日本海沿岸地域の環境保全プロジェクト

目的・コンセプト

北陸の美しい白砂青松の海岸環境を次世代に継承していくため、砂浜の減少等が進む**海岸景観の保全・再生**や、貴重な湿地、島しょ等が育む渡り鳥など**野生生物の生態系ネットワークの保全**を推進するとともに、昨今、地球温暖化の進展による生態系などへの影響が危惧される中で、日本海沿岸地域にあっても顕在化する**大型クラゲ、黄砂、酸性雨**などの**環境問題解決への取組を強化**する。

具体的取組内容

(海岸景観の保全・再生)

- 千里浜なぎさドライブウェイのある押水・羽咋海岸や石川海岸、下新川海岸など、減少する砂浜を再生するための海岸侵食防護の推進
- 防砂・防風、養浜や景観向上のため、白砂青松で名高い雨晴海岸や安宅海岸、気比の松原などの松林再生や防砂・防風林による海岸緑化の推進
- 漂流・漂着ごみの実態把握調査やクリーン・ビーチ・いしかわなど地域住民と海岸管理者など関係者が一体となった漂流・漂着ごみ削減など海岸清掃・美化の取組の強化

(野生生物の生態系ネットワークの保全)

- 片野鴨池や三方五湖といったラムサール条約湿地などの貴重な湿地が育む生物多様性を保全するため、国指定片野鴨池鳥獣保護区の維持管理や外来生物の防除を推進
- 人々の生活と共生し維持されてきた片野鴨池や三方五湖などをフィールドとした自然学校など体験交流による貴重な湿地の保全に関する意識啓発

(大型クラゲ、黄砂、酸性雨などの環境問題解決への取組強化)

- 環日本海沿岸地域で顕在化する酸性雨、黄砂などへの国際協力体制を構築するため、中国遼寧省との環日本海大気環境共同調査研究や、日中韓ロ蒙の産学官が連携した黄砂広域モニタリングネットワークの構築などの推進、関係地域の自治体で構築される北東アジア地域自治体連合（NEAR）環境分科委員会の枠組みを活用した取組の充実・強化
- 大型クラゲの大量発生や地球温暖化、油流出による海洋環境への影響に対する水産資源保護対策の推進
- 国際環境協力を担う人材を育成するため、大気環境共同調査研究等を通じた技術研修員や視察団の受け入れ、日中韓ロの産学官が連携した青少年対象の北東アジア地域環境教育プログラムなどの推進
- 環境改善に関する技術研究の活発化や技術の普及等のため、国際フォーラムへの積極的な参加などによる環境技術情報の共有化を推進
- 国連の北太平洋行動計画（NOWPAP）の地域活動センター（RAC）に指定されている環日

本海環境協力センター（NPEC）による海洋環境モニタリング手法の開発や赤潮・ごみ対策等の推進

4. 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト

目的・コンセプト

美しい自然と豊かな農山漁村に囲まれ、住環境や子育て環境にも恵まれた個性ある都市圏の暮らしの質を高め、北陸新幹線の開通も契機としつつ、近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成を推進する。

具体的取組内容

(1) 住環境や子育て環境にも恵まれた個性ある都市圏の暮らしの質の向上

(個性豊かな都市圏の形成)

- 環境モデル都市づくりを推進する富山、歴史まちづくりを進める金沢、健康長寿を先導する福井の各中核都市圏や接続する高岡、小松、敦賀等の各都市圏における、地域特性を活かした個性豊かな都市機能の充実

(職住に便利な公共交通を核とした地域づくり)

- 新幹線開通を契機としたまちなかの賑わいづくりのため、新幹線駅整備とあわせた市街地整備の推進や中心市街地活性化の取組の強化
- 集積する都市機能への公共交通の利便性向上や農山漁村との連携に資するため、富山のポートラムや高岡のイトラムなどのLRT、路面電車、公共バス等の充実、ICTの活用や公共交通機関の共通カード化などの促進
- 街路整備や、自家用車から公共交通、自転車への利用転換のキャンペーンや優遇制度の導入、金沢で取り組まれる「Kパークシステム」をはじめとしたパークアンドバスライドシステム、高速道路における多様で弾力的な料金施策の実施などの都市交通環境の改善への取組強化

(子育てを支援するワークライフバランス豊かな地域づくり)

- 共働き世帯の多い北陸圏にあって、子育て世帯が仕事と家庭とを両立することができるよう、全国に先駆けて実施されているワークライフバランス企業の登録・情報提供の促進などによる育児時間にも配慮した就業環境の充実に向けた行政・企業の協力体制の整備
- 行政、企業や商店街、地域が一体となったとやま子育て応援団、石川県のプレミアム・パスポート事業、福井県のみま・ファースト運動などにより、子育て世代優先駐車スペースの普及や子育て世代の買い物優遇制度など子育て支援施策の普及・拡大

(教育サービスの充実と安心して子供を育てることのできるまちづくり)

- 子供たちが小中高から高等・専門教育まで安心して優れた教育を受けられるよう、福井県で実施されるサイエンス（理科）教育など地域の特徴的な教育環境の充実、北陸地区国立大学連合による教育研究の活性化などの取組強化
- 子供たちの通学、遊ぶ場など子供の目線に立ったまちづくりに向けて、キッズデザイ

ン「子どものまち」づくり、大規模な公園やまちづくりと一体となった河川整備

- 道路交通環境をより安全・安心なものとするため、事故の発生割合の高い区間における重点的な対策、通学路における歩行空間の整備、自転車利用環境の整備、安全上課題のある踏切に対して緊急的な対策や抜本的な対策の推進

(医療・福祉サービスの充実)

- 緊急医療対応を含めた高次医療サービスの広域的な提供体制を充実するため、福井における救命救急センターを核とした地域の病院への医師派遣支援に向けた「ドクタープール制度」の導入など医者不足対策の充実
- 安全で快適な移動を実現するため、通勤や通院など日常の暮らしや、3次救急医療施設への交通アクセスの改善など救急活動に不可欠のちと暮らしを支える地域交通ネットワークの強化
- 富山型デイスサービスなど地域福祉の推進、低床式バスの導入や空港・駅など交通結節点のバリアフリー化を通じた高齢者、障害者が暮らしやすいまちの実現

(2) 近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成

(都市間の連携機能の強化)

- 北陸新幹線に結節する地方鉄道などの利便性向上や道路網の充実など交通網の充実、それら交通モード間の乗り換え利便性の向上
- 北陸本線については、北陸新幹線開通後も、基幹的で重要な広域的路線として、安全で安定した運行を確保

(二地域居住、定住促進に向けた暮らしやすさを伝える地域ブランドの情報発信)

- 子育てや暮らし、交流体験プログラム等の情報発信など北陸イメージアップ推進会議の取組をはじめとして、地域ブランドの確立と圏域内外に向けた北陸の暮らしやすさの発信

(若年層の定住、UJターンの受入促進)

- 若年層の定住を促進するため、地元大学卒業生のみならず、北陸圏外の大学等に進学した学生の地元企業へのインターンシップや就職面接会などUJターンへの取組の推進、さらには、公営住宅の確保など居住の場の確保

5. いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト

目的・コンセプト

人口減少、高齢化の進展が著しい能登半島や中山間地域などの農山漁村にあって、安心して暮らせる環境づくりを進めるため、農林漁業が健全に育まれることを基本とし、集落機能の再生・維持・強化、里山や林地、里海の保全と野生鳥獣の被害防止対策の強化、福祉サービスの充実等による**農山漁村の活性化**を推進する。

また、環境に配慮した生産基盤の整備や後継者の育成による農業生産活動の推進のみならず、**都市圏との地域間交流を促進し、農山漁村地域の経済の活性化**を図る。

具体的取組内容

(1) 農山漁村の活性化

(集落機能の再生・維持・強化)

- 豊かな食文化で育まれた自然と共生した暮らしの知恵、農林水産物の生産や加工技術、行事など、農林漁業に関連した「祭り」、「伝統文化」、「景観」等の保全・復活に向けた支援
- 能登半島などの半島地域や中山間地域など、人口減少・高齢化の進行に伴う集落機能の低下等による生活不安の解消と農山村の農地を持続的に守るため、集落間又は集落と都市住民との地域協働の形成、条件不利地域への支援、「新たな公」の活動などを活用した、一次産業、医療、福祉、教育、防災や国土保全など、地域の暮らしを維持する新たな仕組みや体制づくりを推進

(里山や林地、里海の保全)

- 里山・里海の価値（大気・水の浄化、野鳥・蛍のもたらす心の安らぎなど）を再発見し、その保全・利用を図るため、国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットと石川県、金沢市、金沢大学の連携した取組や地域住民が主体となった保全活動の推進
- 能登半島などの千枚田を守る田植え、稲刈りなどのボランティア活動の取組やふるさと農地活用プロジェクトをはじめとする棚田や遊休農地を活用した集落間又は都市住民等との地域協働による農地の有効活用による持続的な保全の取組を推進
- 人口減少などで管理の低下する里山の保全、さらには林業再生に資するため、富山県の水と緑の森づくり税やいしかわ森林環境税などの活用、森林ボランティア活動への支援、森林の地籍調査と団地化の推進、金沢市の市民と企業の森づくり事業など官民一体の取組を強化

(野生鳥獣の被害防止対策の強化)

- 中山間地域などにおけるツキノワグマやイノシシなど拡大する野生鳥獣の被害防止のため、里地里山の管理強化や大型家畜の放牧を通じた野生鳥獣との共生のための取組

など北陸地域野生鳥獣対策連絡協議会における広域的に連携した取組の展開

(農山漁村の福祉サービス等の充実)

- 農山漁村集落の暮らしを維持するため、管理用光ファイバー開放や能登半島地域や中山間地域などにおけるCATVなど双方向型のICTを活用した医療・福祉サービス提供の構築と、3次救急医療施設への交通アクセスの改善など救急活動に不可欠のちと暮らしを支える地域交通ネットワークの強化
- コミュニティバスや乗合タクシーの導入、能登地域や中山間地域における集落間、集落と生活拠点間をひとつに結ぶ公共交通の充実など地域の公共交通の活性化・再生につながる事業の強化
- 農山漁村への定住を支援するため、空き家や分家住宅の活用、医療、教育、古民家など住まい、仕事、交流体験プログラム等の情報提供

(2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

(都市と農山漁村との交流拡大)

- 能登半島や中山間地域などにおける小学生の長期宿泊体験活動を受け入れるための受入拠点の整備や「学びの旅」誘致など都市部の子供たちとの体験交流の促進
- 農商工連携による新たな地域特産品の開発・販売や、農林水産物直売所などの交流促進施設の整備による農山漁村地域の経済の活性化と金沢市のまちなか地域イベント朝市出店などによる地産地消等の促進
- 都市部の団塊世代などをターゲットとした農山漁村への二地域居住を促進するため、能登半島や中山間地域などにおける滞在型市民農園などニーズに合致した新たな滞在拠点の形成や、都市との交流・連携や生活基盤を支える道路網の充実

(未利用資源の利活用)

- 山林の保全に寄与するため、間伐材や林地残材などの未利用の木質バイオマスの利活用の促進
- 農山漁村地域に豊富に賦存する未利用バイオマス資源を利活用した、地域活性化に向けた支援

(農林水産業への新規就業の促進)

- 農林水産業への新規就業支援を充実するため、ふるさと就職支援センターなどによる新規就農者や再チャレンジ就農者に対する情報提供や就農支援資金の貸し付け、研修、経営指導などの推進
- 生産効率向上や新規市場開拓など新たなアイデアと経営ノウハウにより農林水産業の活性化に資するため、農業経営に意欲的な地域の建設業者など企業等の農業参入の促進に向けた支援の推進

6. 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト

目的・コンセプト

北陸圏の豊かな自然環境と水資源が育む、豊かで多様な農林水産資源や食文化を活かして、富山・加賀・福井平野を中心とした高生産性優良農業地域において、安定的な食料供給圏域を形成していくため、良好な営農条件の確保や農林水産業の担い手の育成などにより、圏域の**食料供給力を強化**する。

また、消費者に信頼される高品質な「北陸ブランド」を構築し、知名度の向上や食関連産業を強化するとともに、**国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充の促進**、さらには、農水産物の圏域内における地産地消の推進による自給率の向上を図る。

具体的取組内容

(1) 食料供給力の強化

(良好な営農条件の確保)

- 高生産性優良農業地域における効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を構築するため、農地の整備による生産性の向上と意欲・能力のある経営体等への農地の利用集積と面的集積の促進
- 多様な作物導入に適した優良農地の確保と有効利用に向けて、生産基盤の整備など農地、農業用水等の適切な保全管理の推進
- 耕作放棄地の発生防止や湛水被害の防止等による優良農地の確保
- 良質な農産物の安定供給や農業用水の健全な循環を確保するため、農業用排水施設の機能診断調査に基づく機能保全対策や適時適切な更新整備等の推進

(農林水産業の担い手の育成)

- 水田経営所得安定対策への着実な加入促進、法人化・企業的経営への取組等、担い手の発展段階に応じた支援等の実施
- 農林水産業の担い手の育成を図るため、地域担い手育成協議会による農業後継者や都市部の就農希望者に対する営農相談等の推進

(2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

(「北陸ブランド」の構築)

- 富山県のチューリップ球根、はとむぎ茶（焙煎茶）、うまづらはぎ、石川県の金沢市の加賀野菜、能登本まぐろ、福井県のコシヒカリ等の農林水産物や加工品の地域ブランド力の強化に向けた取組を推進
- 北陸3県の食品製造業者、農林漁業者、試験研究機関、流通業者等から構成される「食料産業クラスター協議会」を中心とした食料産業クラスターの形成や、中小企業者と農林漁業者相互の経営資源の活用による農商工連携の促進など異業種での食の「北陸

ブランド」の確立に資する新商品開発や国内外への販路拡大の取組強化

- 食の「北陸ブランド」の国内消費者への認知度向上に向けて、3県の連携による北陸圏の知られざる食材の発掘と情報提供

(国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充)

- 北陸地域農林水産物等輸出促進連絡協議会などによる海外における販売促進活動の支援や輸出商社・バイヤーとの商談会等の開催
- 農水産物の国内外への安全かつ効率的な出荷を図るため、地域の食品産業とその他関連産業等との連携による、生鮮食料品の保冷貯蔵や輸送技術の強化、港湾・空港ターミナルにおける保冷貯蔵機能の充実

(地産地消の推進)

- 地産地消に対する消費者等の意識啓発を図るため、(仮称)金澤じわもん祭や子どもたちと農家の学校給食畑、地産地消に取り組む学校給食や社員食堂等への表彰及び優良事例紹介などを推進
- 地産地消の生産・販売の一貫した仕組みを構築するため、氷見市をはじめとする「地産地消モデルタウン」形成を通じた道の駅などを活用した農林水産物直売所や生産出荷体制の構築、いしかわ「旬の地場ものもてなし」運動や地産地消推進協力店の認定制度などの支援強化とその普及

7. 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト

目的・コンセプト

北陸圏における原子力及びエネルギー分野の最先端技術の集積を活かして、他分野との連携や産学官連携などによるがん治療、次世代エネルギー、新品種開発などに活用される**最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出**に取り組むとともに、先駆的なモデルとなる**環境にやさしい暮らしの普及・定着**を推進し、エネルギー技術と環境技術の集積拠点を形成する。

具体的取組内容

(最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出)

- 原子力発電所の集中立地といった地域特性を活かして整備された加速器を用いた陽子線がん治療、高エネルギービームを用いた新素材研究、イオンビームを用いた植物の品種改良など福井県若狭湾エネルギー研究センターを核とした最先端のエネルギー技術の産学官共同研究など原子力及びエネルギー関連技術の地域産業への普及促進
- 福井クールアース・次世代エネルギー産業化プロジェクトを核とした電力貯蔵、分散発電、熱交換システム、液化燃料製造に関する産学官連携での実用化研究など次世代エネルギー技術の早期の事業化、産業化の促進
- 原子力関係の研究施設と人材を活用し、特色ある原子力分野等の教育・研究機能を充実するため、福井大学を中核に近畿・中部圏等の大学との広域の連携拠点を形成
- 間伐材や林地残材などのペレット加工によるバイオマスエネルギーや風力発電、富山県をはじめとした小水力発電や太陽光発電など地球温暖化防止に資するクリーンエネルギーの普及促進

(環境にやさしい暮らしの普及・定着)

- 環境技術を活かして、環境にやさしい暮らしを定着するため、エコタウン産業団地を核とした廃棄物の発生抑制・リサイクル、住宅やオフィスなどの省エネ性能の向上など富山市の環境モデル都市、エコタウン事業での取組の推進や最終処分場の確保
- 北陸に豊富に賦存するバイオマスなど未利用資源の利活用技術の構築と地域経済の活性化を図るため、生ごみや下水汚泥の堆肥利用など、富山市や黒部市、射水市、立山町、珠洲市、七尾市、加賀市、福井市、大野市、若狭町のバイオマスタウン事業の推進
- 地球温暖化への取組を地域に定着させていくため、地域エネルギー・温暖化対策推進会議や北陸環境共生会議の枠組みを活用した地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する情報の交換・共有と、エネルギー需給構造の実態把握、普及啓発活動などの推進

8. 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

目的・コンセプト

北陸圏の優れた地域資源及び今後の北陸新幹線の開業など充実する広域交通ネットワークを最大限活用し、国内外観光客の増加による地域活性化を図るため、北陸の各**地域**の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり、国内外観光客の効果的な誘客拡大を推進する。

具体的取組内容

(1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

(地域資源を活かした観光拠点の形成)

- 北陸の地域資源を活かした長期滞在を可能とする魅力ある観光拠点を形成するため、富山県新川地域や石川県能登地域、福井県坂井地域など複数の市町村の観光連携の強化、富山県西部・金沢地域の連携や北陸新幹線沿線の各都市の連携など県の枠を越えた観光連携の強化
- 北陸の国内外への知名度をより一層向上するため、「立山・黒部」、「霊峰白山」、「近世高岡の文化遺産」、「城下町金沢」、「若狭」といった世界遺産登録に向けた関係地域の連携した取組の強化
- 金沢などの歴史的風致地区の景観維持向上の取組や風景街道、無電柱化など都市景観や沿道景観の向上・街並み保全の取組の推進、九頭竜川流域一帯におけるダイノソーパーレー構想、美しい能登の海を活かしたマリントウン構想など他にはない個性ある地域資源を活かした観光地の形成

(旅行者が何度も訪れたいくなる新たな観光形態の創出)

- 各地の生活文化や地元の人々とのふれあいを重視した観光、エコツーリズム、グリーンツーリズム、産業観光など、北陸の新しい観光スタイルの創出に向けた各地域での取組を促進するため、北陸の観光交流に関する研究・人材育成などの仕組みづくり

(国内外観光客の利便性の向上に向けた受入環境づくり)

- 北陸新幹線の開通や新たな航路の充実を契機として、金沢市の都心部を周遊する“まちなかシャトル”の導入など北陸新幹線駅や空港など交通結節点とリンクした鉄道網やバス網などとの交通ネットワークの強化や1日何度でも乗り降り自由な加賀各所をまわるキャン・バスなど国内外旅行者に利用しやすい公共交通網の充実
- 会議、イベント、コンベンションへの参加者や北陸に来訪する国内外旅行者に向けてのきめ細かな観光情報案内窓口や総合支援体制の形成、外貨両替窓口や免税店の充実など北陸新幹線開業を見据えた国内外旅行者の受入体制の整備

(2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

(多様な広域観光ルートの充実及びそれを支える広域交通基盤の強化)

- 三大都市圏や、東アジアや欧米諸国など海外からの誘客を推進するため、観光客のニーズに沿った便利で魅力的かつ多様な広域観光ルートの構築
- 広域観光ルート構築に向けた連携を支えるため、北陸新幹線や東海北陸自動車道など高規格幹線道路網の活用を図り、高速交通網や、空港・港湾の国際航路の充実といった広域交通基盤の強化

(広域連携による認知度向上及び誘客プロモーションの強化)

- 北陸の魅力を見えやすくするため、北陸各地の地域資源をテーマ・ストーリーで紡いだ「北陸の物語情報」の構築・蓄積の仕組みづくり
- 北陸の地域魅力に関するパブリシティ窓口の形成や旅行者、旅行会社等への北陸の観光魅力情報の一体的な発信の仕組みづくり
- 北陸新幹線の開通を契機とした、北陸一体での戦略的な三大都市圏向け誘客プロモーションの実施
- 北陸新幹線等を活用した首都圏～北陸圏～関西圏ルートのプロモーション、中部国際空港や東海北陸自動車道を活用した広域観光ルートのプロモーションなど北陸が一体となった戦略的な海外向け誘客プロモーションの実施

(観光交流活発化のための北陸の官民連携の推進体制の強化)

- 北陸新幹線の開業を契機とした北陸圏の観光交流活発化のため、北陸の観光交流を戦略的に推進する官民の連携推進体制の強化

9. 東アジアに展開する日本海中枢拠点形成プロジェクト

目的・コンセプト

北陸圏の有する三大都市圏や環日本海地域をはじめとする東アジアに対する地理的な優位性を活かして、日本海側の産業・物流の中枢拠点機能を強化するため、日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした**産業の国際競争力の強化**、三大都市圏や環日本海諸国をはじめとする東アジアなど諸外国に展開する**国際物流機能の強化**を推進する。

具体的取組内容

(1) 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

(医薬、繊維などの地域産業を牽引する産業クラスターの形成)

- ライフサイエンス研究開発拠点づくり、医薬・健康関連ビジネスの拡大に資する富山県、石川県における「ほくりく健康創造クラスター」を中核とした、医薬バイオ機器関連の大学と企業の共同研究、新事業や起業創出、東西医学融合医療モデルや医療機器の先端技術の世界標準の設定などの推進
- 産学官連携による北陸ものづくり創生プロジェクトを推進し、バイオ、高度精密加工、新素材などの分野での「ものづくり産業クラスター」の形成を促進
- 北陸圏に集積する繊維産業の活性化に向け、北陸3県の行政及び支援機関等が連携することにより、衣料・非衣料両分野において、新商品開発、販路開拓、人材育成などの取組を推進することを通じた、「北陸3県繊維産業クラスター」の形成
- とやま新事業創造基金、いしかわ産業化資源活用推進ファンド、ふくい逸品創造ファンドなどの地域資金を新事業・新産業創出に活用する基金制度の充実

(北陸圏の産業ニーズを踏まえた人材育成・人材確保及び産学官や異分野連携などによる中小企業の活性化)

- 輪島塗、九谷焼など伝統産業を維持・継承するため、伝統産業に従事する人材の確保・育成
- 進取の気性に富む起業意欲の高い人材育成のため、産学連携による北陸スーパーテクノコンソーシアムなどを通じたものづくりやマーケティング分野での人材育成、活躍の場の創出、アドバイザー派遣や助言による起業支援
- 優れた人材の地元雇用を促進するため、企業と大学卒業生の就業段階でのマッチングを支援する取組の強化、地域一体となった情報提供などの仕組みづくり
- アジアなどの留学生に対する日本語教育・日本ビジネス教育、北陸圏での就職活動の支援に向けた、アジア人財資金構想など産官学連携の促進
- 製薬、化学、金属、機械、繊維、眼鏡など北陸圏の企業が持つ優れた技術を新事業や新商品開発に結び付けていくため、戦略的基盤技術高度化支援事業などによるモノ作り基盤技術の高度化支援や、中小企業地域資源活用プログラムなどによる異分野が連

携した新商品開発・販路開拓支援

(2) 三大都市圏との近接性を活かし、環日本海地域に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

(広域的な産業連携を通じた国際物流機能の強化)

- 東アジアやロシア・欧州、北米に向けた北陸諸港（伏木富山港、金沢港、敦賀港等）での共同ポートセールスや国際航路の誘致など国際物流機能強化のため、北陸3県の官民連携の研究組織の構築や国際物流戦略チームなどの官民連携による研究・協力体制の強化
- 圏域内の自地域港湾利用の拡大を図るため、経済界主導による、金沢港における複数荷主共同による国際輸送体制の確立への支援など、荷主のニーズに合致した効率的なシステムの構築
- 経済発展に伴い貿易が拡大する東アジアやロシアに向けた国際貨物需要に対応するため、需要動向に即応した北陸諸港の国際物流機能の強化

(国際物流機能を活かした環日本海交流の中核となる企業誘致)

- 東海北陸自動車道や空港・港湾の国際物流機能の充実による定時性の向上や時間短縮効果を活かして、北陸諸港の港湾関連用地へのSCM（サプライチェーン・マネジメント）やJIT（ジャスト・イン・タイム）へのニーズの高い加工組立型をはじめとする港湾活用型企業の誘致の促進
- 環日本海地域をはじめとする海外と北陸地域との経済交流の発展のため、北陸の経済団体（環日本海経済交流促進協議会等）や行政が参画する北陸韓国経済交流会議の定期開催や視察団の派遣など産業・経済界の交流活動の取組を推進
- 環日本海地域や欧州向けの市場拡大を図るため、東海北陸自動車道などの高規格幹線道路網、伏木富山港や金沢港、七尾港、敦賀港を活用する太平洋側からの物流ルートを活かした隣接圏のものづくり産業との連携枠組みの構築、共同見本市などの連携方策の検討

(荷主に信頼される物流網の構築)

- 北陸諸港と集荷圏を結ぶ冬季の降雪に強い信頼性の高い道路網の充実
- 大雪時の交通機能を確保するため、優先的に除雪を行い交通機能を確保する「雪みちネットワーク」の確保と関係機関による情報連絡本部の設置
- 北陸本線については、北陸新幹線開通後も、全国的な広域・幹線物流ネットワークとして支えていくため、安全で安定した運行を確保

【北陸圏・中部圏連携プロジェクト】

1. まるっと北陸・中部観光魅力増進プロジェクト

目的・コンセプト

北陸圏・中部圏は、海外でも著名な我が国を代表する観光地や世界遺産が数多く存在しており、こうした各地域に点在する自然、歴史、文化等多分野にわたる観光資源を活かして、外国人の観光客の誘客・滞在を促進するため、北陸圏・中部圏の諸空港や交通ネットワークを活用した回遊性の高い広域観光ルートを開発する。

また、外国人観光客の人気を集めている先進事例も踏まえ、訪日外国人向けのサービスを強化するなど、各観光地の魅力を増進するとともに、その魅力を効果的に情報発信する取組を進める。

具体的取組内容

(外国人観光客誘致促進のため、多様なニーズに応じた魅力溢れる広域観光ルートを整備)

- 両圏域に存在する空港を最大限に活用した広域観光ルートの開発を推進
- 両圏域に連なる豊かな自然や地域の伝統的な祭典、イベント、文化体験などの広域ネットワーク化を推進

(魅力的な広域観光ルート支える交通ネットワークの整備)

- 観光地へのスムーズなアクセスを可能にする交通ネットワークの整備
- 交流・連携を促進する基盤の整備を契機とする自然・文化等を活かした長野県・岐阜県と北陸三県の観光地連携の促進

(知名度を上げ、訪れてもらうため、地域の魅力を積極的に情報発信)

- 国際会議などのイベントを契機とした官民一体となった観光プロモーションの推進
- 広域連携による観光振興の推進主体などによる一体的な情報発信の推進

2. 広域物流ネットワーク（日本海～太平洋）構築プロジェクト

目的・コンセプト

日本海と太平洋に跨る広域のエリアで、戦略的に広域物流ネットワークを構築していくことにより、急速な経済成長により交流・連携の重要性が増している東アジアをはじめとする世界市場における競争力強化を図る。

特に、太平洋側の港湾諸港と、中国をはじめ東アジア諸国との交易が急増している日本海側の港湾諸港との連携を強化するとともに、両圏域の経済交流を図り広域物流ネットワークの利用促進につなげていく。

さらに、広域物流ネットワークを支える基盤整備を一層進めることにより、両圏域を一体化するネットワークの構築を総合的に進めていく。

具体的取組内容

（極東・中国をはじめとする東アジアマーケットへの交易拡大とそのための域内連携の強化）

○特定重要港湾など主要港についてのポートセールスの積極的な展開及び連携による利用促進

（経済交流による広域物流ネットワークの利用促進）

○経済団体間の「共同宣言」に基づく定期的な懇談会の開催など、両圏域の経済団体の交流の促進

（北陸圏・中部圏を一体化する広域物流ネットワークを支える基盤整備）

○日本海側と太平洋側を結ぶ高規格幹線道路や地域高規格道路の整備促進

○物流ネットワークの効率化に資する高機能物流センターの整備と利用促進

3. 環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクト

目的・コンセプト

産学官民の様々な主体の連携により、環白山地域（白山国立公園とその周辺地域）及び環北アルプス地域（中部山岳国立公園及び飛越地域）の類まれな自然・景観の保全と再生、その自然に育まれた歴史、文化の保全に取り組む。また、その適正な利用の推進を図ることにより、持続可能な地域振興にも繋げていく。

さらに、これらの地域は、日本海側と太平洋側に流れる河川の水源を有する「分水嶺地域」であることから、分水嶺周辺における森林整備をはじめとした自然環境を保全する取組を各河川の流域圏における中流域・下流域にも発展させ、環境保全意識を高めるとともに、上下流連携（都市・農山村連携）を促進する。

具体的取組内容

（両圏域に跨る豊かな自然の保全のために野生生物の生息環境や生態系の保護・管理を推進）

- 両圏域に跨る山岳地帯におけるツキノワグマの広域保護管理
- 両圏域に跨る山岳地域における高山植物等希少な野生動植物の保護
- 両圏域に跨る山岳地域における自然環境の保全に資する施設整備の推進
- 入山規制等による自然環境の保全
- 国有林内の保護林を連結した緑の回廊の保全

（文化的・自然的景観の保全・継承のため、両圏域に存する優れた景観の世界遺産登録に向けた取組の推進）

- 両圏域に存する優れた文化的景観の世界遺産登録に向けた取組の推進

（流域圏連携をはじめ、多様な連携による森林保全の推進）

- 上下流連携による森林整備
- 間伐の推進及び間伐材の利活用による森林保全の推進
- 多様な関係機関の連携による総合的な流木対策の検討・推進

4. 広域防災・災害応援ネットワークプロジェクト

目的・コンセプト

高い確率で発生が予測される東海、東南海、南海地震や近年の日本海側で発生している地震等による被害及び気候変動に伴う豪雨等により見込まれる風水害、雪害に対して、被害を最小限にするため広域的な相互支援体制の充実を図るなど、地域防災力の強化に両圏域が一体となって取り組む。

さらに、発災時における代替補完機能を考慮した広域交通体系の構築を推進することにより、災害に強く、人々が安心して生活することのできる地域づくりを進める。

具体的取組内容

(災害時に適切に対応できるよう、平常時からの交流促進による防災ネットワークの構築)

- 災害相互応援協定など広域的な防災・危機管理体制の構築・強化
- 官民多様な主体の連携の促進による人的・物的支援(補完)機能の強化

(迅速な復旧を目指したリダンダンシーの確保)

- 高規格幹線道路等の整備による広域交通代替機能の強化